

会員の著作紹介

キクタンサイエンス
情報科学編
平井 通宏 著

B6判・175頁
価格：2,310円(税込)
アルク
2012年6月発行



情報通信技術 (Information and Communications Technologies, 略してICT) は、他の科学・技術分野と比べて、歴史は比較的浅いですが、その進歩には目覚ましいものがあります。その要因として、大量のデータを高速処理したり、複雑な計算を精密かつ正確に行ったりするという、科学・技術分野共通のニーズに応えるだけでなく、コミュニケーションを迅速かつ円滑にし、人々の生活を目に見える形で変えていく力が備わっていることが考えられます。さらに、wikiやYouTubeに見られるように、世界中の誰もが直接参加し、進化をもたらす、という従来の技術にない革命的な側面もっており、そのために、さまざまな概念や言葉が時々々生まれています。本書では、おびたしいICT用語から主として、この分野の技術者・学生さらには文書作成や翻訳・通訳などの仕事にたずさわる人を対象として、必須と思われる512語を厳選して編纂しました。

ICT用語のうち「データ」や「情報」といった基本中の基本といえるものについては、情報処理用語の国内規格 (JIS Xシリーズ) および国際規格 (ISO/IEC2382シリーズ) を引用し、できるだけ正確な定義を与えています (ちなみに筆者はこれらの原案作成委員を20年近く務めました)。また、より時代に即したものにするため、パソコンやインターネット関連のさまざまな新語のうち話題性の高いものも採用し、一般ユーザに分かりやすい説明を付け加えました。なお、512語に納めるという本シリーズの制約から、固有名詞および専門性の高い用語は割愛しました。

キクタンサイエンスの特徴は、CDが付属していて、正しい英語の発音を耳から聞いて覚えられるようになっていることです。業務上外国人と電話や会議で直接話す機会が多い人々には心強い自習本だといえます。

平井 通宏 (ひらい みちひろ)
技術士 (情報工学部門)

(有) 平井ランゲージ・サービス
e-mail : mjhirai@beige.ocn.ne.jp



東アジアのモノづくり
マネジメント
高桑 宗右工門 編著

A5判・231頁
価格：3,780円(税込)
中央経済社
2012年12月発行



経済成長の著しい東アジアにおいて、製造企業におけるモノづくりを支えるために、本書では、日本ならびに中国において長年培われてきた経営管理および技術管理について、理論と実践の両面から論述されています。従来、世界の工場とよばれてきた東アジア地域は、いまや巨大な消費地となっており、アジアワイドのサプライチェーンを構築することが喫緊の課題となってきました。他方、いくつかの深刻な問題も顕在化してきました。なかでも、経済活動の活性化によるエネルギー・環境問題への取り組みがますます重要になってきました。こうした問題に対しても、国際的な協調が不可欠です。過去数年間にわたり、広くモノづくりのマネジメントの観点から、日中の研究者が議論を積み重ね、本書はそのうちの主に日本側の研究者による研究成果をまとめたものです。

本書の内容は大きく2つの部分で構成されています。前半では、はじめに、東アジアにおける経済とグローバルロジスティクスについて、包括的に論述されています。続いて、イノベーション、技術、経営理念、ビジネスモデル、などについて、経済学ならびに経営学の観点から論述されています。後半では、生産と技術のマネジメントの各論について、特に、生産マネジメント、TQM、マーケティング、IT (情報技術)、ナレッジと知財のマネジメントについて論述されています。そして、生産と地球環境、環境経営について述べられています。特に日本技術士会の総合技術監理部門における技術体系も念頭に置いて内容が構成されており、生産と技術の管理を遂行するためには、これらの一連の管理について、バランスをとり総合的に考慮する必要があることが強調されています。

高桑 宗右工門 (たかくわ そうえもん)
技術士 (経営工学/総合技術監理部門)

名古屋大学 大学院経済学研究科 教授
e-mail : takakuwa@soec.nagoya-u.ac.jp

